

東北夏祭り 五所川原が守り続ける地域の伝統や魅力の理解へ 「立佞武多曳き体験と津軽鉄道旧客夜行列車の旅」を発売

8月7日出発 2023年7月4日（火）から受付開始

株式会社日本旅行東北（本社宮城県仙台市、代表取締役社長：中村浩彰）は、青森県西北地域県民局（青森県五所川原市）「西北の鉄旅コンテンツ創出業務」の一環として、「津軽鉄道・五能線をテーマにしたモニターツアー」の企画を行っておりますが、2023年7月4日より『立佞武多曳き体験と津軽鉄道旧客夜行列車の旅』を発売します。

本ツアーでは、五所川原市からプレゼントされるオリジナルTシャツをご着用いただき、まさに地元の方と一緒に、祭りの「曳き手」としてご参加いただきます。観覧者としてだけでは味わうことのできない距離感にて、地元の想いや熱量を感じていただくを通じ、五所川原および東北が大切に守り続けてきた、地域の伝統や魅力の理解の醸成につなげます。お祭り後には、五所川原市を代表する地域鉄道である津軽鉄道のレトロな旧型客車を使用した「夜行列車」の旅で一晩を過ごしていただきます。



企画のポイント

(1) 五所川原市「立佞武多」

五所川原市で毎年8月上旬に開催される「立佞武多」は、明治中期から大正初期にかけて行われた伝統民俗で、「立佞武多」の名称は平成の復活の際に名付けられたものです。同じねぶたでも青森市のねぶたと大きく違う点は「高さ」にあります。立佞武多の背の高さは、最大で約22m強、重さ16トンにおよび、七階建てのビルの高さにも相当する巨大な山車が「ヤッテマレ、ヤッテマレ！」のかけ声とともに曳かれ、市中を練り歩きます。

(2) 津軽鉄道・旧型客車夜行列車

津軽鉄道には、昭和30年代に製造された、全国でも貴重になった旧型の客車が残っています。冬には有名なストーブ列車として使用されるこの客車を使用して、夜行列車を運行することになりました。立佞武多の終了後、津軽五所川原－津軽中里間を2往復し、早朝の津軽五所川原で解散となります。かつて東京と津軽を結んでいた急行「津軽」をイメージした夜行列車で、懐かしい昭和の夜汽車をぜひご体験ください。



企画の概要

- (1) ツアー名 立佞武多曳き体験と津軽鉄道旧客夜行列車の旅
- (2) 旅行期間 2023年8月7日(月)～8日(火) 夜行1泊2日
- (3) 行程概要
- | | | | |
|---------|--------|----------------------|----------------|
| 8月7日(月) | 14:30 | 立佞武多の館にて受付開始 | 館内自由見学・曳き手のご準備 |
| | 17:30～ | 立佞武多曳き体験 | |
| | 22:00 | 津軽五所川原駅にて再集合 | |
| | 23:00頃 | 津軽五所川原出発、津軽中里との間を2往復 | |
| 8月8日(火) | 6:00頃 | 津軽五所川原駅到着・解散 | |



夜行列車の車内イメージ

- (4) 旅行代金 大人・子供同額 18,000円(おひとり様あたり)
<旅行代金に含まれるもの>
- ・立佞武多曳きに参加する費用
 - ・津軽鉄道乗車券、夜食(軽食)代
- (5) 募集人員 80名(最少催行人員60名)
- (6) 添乗員 受付から津軽五所川原駅解散まで同行

(7) 受付日時・お申込み

2023年7月4日(火)15:00より下記専用サイトにて承ります。

<https://va.apollon.nta.co.jp/tsugaru-tetsudou/>

※津軽鉄道では受付しておりませんので、ご注意ください。

(8) 申込・商品に関する問い合わせ先

株式会社日本旅行東北 青森支店

〒030-0801 青森県青森市新町2-1-11 ESTビル8階

営業日・営業時間 平日10:00～17:30(土日祝日は休業)

TEL 017-777-3451 FAX 017-776-2821

このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社日本旅行

秘書広報部 広報担当 TEL 03-6895-7860

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング12階